

2021 【おすすめ】りんご品種資料

管内の生産基盤の老木化が著しいため、この時代に適合する品種を持って園地の若返りを図ることが急務です。園芸品目の複合経営のなかで下記のりんご品種を導入してみませんか？

検討品種特性メモ

品種名	交配・来歴等	収穫時期	貯蔵性	特性
シナノリップ 【おすすめ！】	千秋×シナノレッド	8月末	常温で約10日	果形は横長 収穫前落果小！
百年ふじ 【おすすめ！】	らくらくふじ枝変わり	11月上旬	常温で約3カ月	濃赤色で縞が不明瞭 11月初旬収穫可能！
ぐんま名月	あかぎ×ふじ	11月上旬	常温で約1カ月	黄色系品種 酸味なく食べやすい
ムーン ルージュ	いろどり×ふじ	11月中旬	常温で約1カ月	黄色系・果形は横長 赤色果肉（蜜入り）

① 百年ふじ ⇒ 導入例：昔ながらのふじから最新トレンドへ切り替え！

『色上がりが断然早い！ふじの核弾頭！』

越の荻原安治さんがらくらくふじの中から育成した超優良系統。苗木販売元の（株）天香園の百周年を記念して、百年ふじと名付けられました。

数多くのふじ系統のなかでも色上がりが格段に早く、10月末には濃赤色に仕上がり、糖度も上がりや蜜入りも早いため、11月上旬にはまとまった量の収穫ができることが最大の特徴です。近年秋の高温や日照不足等でふじ全体に着色遅れが目立つ状況ですが、百年ふじの色上がりはひと際早く、園地の中でも目を引く存在でとなっています。9年前から生産振興を始め、現在では市内各地で百年ふじが栽培され、生産者側からも『非常にいいね』（高評価）を得ています。ふじの系統はたくさんあって、どれを植えていいかわからない…悩みが長年続きましたが、百年ふじの登場でこの悩みは一気に解消できそうです。中野市で植えるなら、迷わず百年ふじでしょう！

2021 春苗木価格：1年生@2,200 円/1本



11/8 撮影



② シナノリップ ⇒ 導入例：露地ぶどう収穫前の品種として選択してみては…？

『8/20 に真っ赤に仕上がる！期待の早生種！』

中野市で 8/20 すぎにに成熟期を迎えるシナノリップ。真夏の高温下でも容易に紫紅色に仕上がることが最大の特徴です！収穫はつがると同時期で、糖度も高く甘みを強く感じる食味です。平均糖度は早生としては 14-15% 台。試食会でも評価は『いいね』（高評価）です。

10 年前と比べて、つがる等のりんご早生種は 4 分の 1 まで少なくなりました。しかし、消費者から真夏にりんごを食べたいとの声は消えることはありません。真夏のシナノリップ！ぜひ植えてみませんか？

2021 春苗木価格：2年生@2,800 円/1本



8/22 撮影



- ③ ぐんま名月（あかぎ×ふじ） ⇒ 導入例：労力かかる葉摘み省力品種として…

『一度食べたらやみつき！直売向き品種！』

2020 果樹の品種トレンドでも上位に入ったぐんま名月。外観は黄色系で成熟期に入ると、赤色がさしてきます。収穫時期は中野市で概ね 11/1-10 頃。食味は酸味がなく、甘みを強く感じます。黄色系品種だけに、手間のかかる葉摘みは省略できること強みです。成熟に入ると日当たりの良い面が赤く発色しますが、これは糖度が高く『うまい』証拠であると言えます。一度食べたらやみつきになる！直売向き！リピーター続出！昨年開催された現地検討会でも参加者の評価は一律に『いいね！』や『やってみたい！』です。

2021 春苗木価格：1 年生@1,760 円／1 本



平年 11/5 頃

- ④ ムーンルージュ（赤色果肉） ⇒ 導入例：ふじの前に収穫。まずは 1 本から…

『割ってみてビックリ！そこに遊び心あるりんごもある！』

長野県試作品種。

何かと世間の注目を集めている赤色果肉りんご。そのなかでもおすすめ品種がムーンルージュ。晩生種で葉摘み不要なタイプです。JA 中野市では 3 年前から市場出荷開始。食味も高評価獲得。主力のふじの収穫等もあるため大規模で導入することは難しいですが、まずは 1 本…導入してみてもいいかなですか？

2021 春苗木価格：1 年生@2,750 円／1 本

